

会議録

会議の名称	社会教育委員の会議（8月定例会）
開催日時	令和8年8月21日（金）午後2時から午後4時まで
開催場所	田無庁舎2階202・203会議室
出席者	委員：川原議長、松本副議長、伊尻委員、岩穴口委員、山本委員、大宮委員、堀田委員、河野委員、高橋委員、田口委員 事務局：古川地域学習推進課長、鬼頭地域学習推進係長、石島主事
議題	（1）今後の活動について
配付資料	
記録方法	☐ 全文記録 ☒ 発言者の発言内容ごとの要点記録 ☐ 会議内容の要点記録
会議内容	
議題（1）今後の活動について ●事務局より、今後の現役世代の生涯学習の課題議論にあたり、本日の確定したい下記の議論内容について説明。 ・公民館職員による研修の詳細 ・外部講師による研修の詳細 ・生涯学習に特化したアンケートの内容 <公民館職員による研修の詳細> ●事務局より、委員各位には、公民館職員に対する質問や講義して欲しい内容について議論することを提案。 ●議長：事務局の提案に対して、何か意見はあるか。 ○委員：生涯学習や社会教育に対する公民館の位置づけについて、公民館としてはどのように考えているのか聞いてみたい。 ○委員：現役世代の講座以外での公民館の利用状況や、公民館としての現役世代へのアプローチやその計画について聞きたい。 ○委員：今公民館では受講者のサークル化が難しいと聞いているので、それに対して、公民館として今後どのようにアプローチしていこうとしているのか知りたい。 ○委員：公民館の事業計画から、現役世代に向けた講座は全講座の内2講座のみとなっている。利用者が少ないからなのか等、理由が知りたい。 また、現役世代はオンラインの学習を望んでいるが、オンラインの個の学習をどうやって地域全体に広げようとしているのか聞きたいし、一緒に考えていきたい。	

○委員：現役世代は夜間に利用したいというニーズがあると思うが、公民館としてどのように対応をしていくのかを聞きたい。

●議長：委員各位の質問から、話して欲しい内容についてまとめると、以下の通りになると考える。

①公民館における現役世代のこと

②講座の内容設定について

追加の質問は8月末まで受け付けることとし、事務局には今回挙げた質問も整理して公民館へ研修の依頼をしてもらうこととしたいが、よろしいか。

一同、異議なし

<外部講師による研修の詳細>

●事務局より、外部講師による研修について、研修を通して何を知りたいか、研修の形態、講師や施設の候補について、議論することを提案。また、前回の定例会では、研修場所の候補として立川市が挙げられていたことについて説明。

●議長：事務局の提案に対して、何か意見はあるか。

○委員：現役世代が生涯学習に参加し辛い要因は何か、そしてそれをどう乗り越えたのか、生涯学習の推進について先進的な自治体が近隣にあれば、話を伺ってみたい。

○委員：立川市も西東京市と同じ問題を抱えている可能性もあり、せっかくお呼びしても、結局一緒に悩んで終わりになってしまいうかもしれない。

○委員：立川市も同じ悩みを抱えている可能性が高いのであれば、他の先進自治体に話を伺った方が良いかと思う。

○委員：立川市が悩んでいることは何か、そしてそれをどのようにして乗り越えようとしているのかも聞いてみたい。

○議長：公的機関以外で、何か候補となる施設・機関はあるか。

○委員：シブカツ（渋谷生涯活躍ネットワーク・シブカツ）では、個人からNP0まで含めて様々な施策を実施していたかと思う。

○委員：気仙沼まち大学でも生涯学習について幅広く取り組んでいる。近日中に現地に行く用事があるため、研修等について話をした後日報告したいと思う。

○委員：生涯学習について、市民団体と協働して同じ施設で連携しているところもある。

○議長：研修の形態について、講義か視察かどちらが良いか意見はあるか。

○委員：可能であれば視察もしてみたい。講義と視察の組み合わせが良いのではないか。

- 議 長：視察もするとすると、第1の候補としては立川市が良いと考える。日付は次回定例会の10月23日（金）とし、事務局にはまず立川市に確認をしてもらい、もし都合がつかない場合は、今回挙がった他の施設についても確認することとしたいが、よろしいか。

一同異議なし

<生涯学習に特化したアンケートの内容>

- 事務局より、現役世代に向けた生涯学習に関するアンケートについて、過去に西東京市で実施したアンケート及び内閣府の世論調査等を参考にしたアンケート設問一覧について説明。また、アンケートについては下記の通り想定していることを説明。

利用するアンケート： 市政モニター、公式LINE、紙面

設 問 数： 15問

調 査 方 法： LoGoフォーム

- 議 長：事務局提示のアンケート設問一覧に対して、何か意見はあるか。

- 議 長：複数選択可能な設問については、特に当てはまるもの3つに絞って選択するようにした方が課題が浮き彫りにできると考える。

また、「普段、学びに関する情報をどのように得ているか」という設問については、「普段情報は何で集めているか」という聞き方の方が、普段利用するアプリなどが分かるので良いと思う。

- 委 員：設問が15問あるが、一般的には5問を超えると回答率が下がると言われており15問は多い。また、LoGoフォームを使用するとのことだが、LoGoフォームに遷移する時点で回答率が下がる。パソコンで回答する場合は長めでも良いが、スマートフォンで回答する場合は短くするなど工夫をすると良いと考える。

- 委 員：5問程度に整理するなら例えば以下が良いと思う。

第1問 今後どのようなテーマの講座を受けたいか

第2問 どのような形態（場所と時間）なら参加しやすいか

第3問 学習に参加し辛い理由は何か

第4問 情報はどのような媒体で得ているか

第5問 市への要望について（自由記述）

- 委 員：設問数は、条件分岐も使用して減らすのはどうか。

- 委 員：アンケートが長くなると、アンケートを実施している側のためのアンケートであると回答者に思われて離脱されてしまう。アンケートを受ける側のためのアンケートにした方が良いと思う。

- 委 員：せっかくのアンケートを実施する機会なので、設問数を減らすのはもったいないと思う。特に市政モニターは回答率が高いので設問数は多くて良いと思う。

- 議 長：統合できる設問は統合して減らした方が良いと考える。「今後どのようなことを学習したいと思うか」という設問に、「図書館（公民館）の講座でどのようなことをしたいと思うか」を統合するなど。

○委員：「市の情報発信が十分かどうか」は市としては引き続き情報発信に取り組んでいくことは変わらないので、聞かなくてよいと思う。「（「学びに関する情報でどのような情報を得たいか」の回答に対して）その情報をどの媒体で得たいか」についても、市で実現できるものは限られているので不要だと思う。「公民館（図書館）を利用しているか」「公民館（図書館）の講座でどのようなことをしたいと思うか」についても、利用率などから分かると思うので不要だと考える。

○議長：・「普段情報は何で集めているか」があるため、「（「学びに関する情報でどのような情報を得たいか」の回答に対して）その情報をどの媒体で得たいか」については削除するで良いと思う。
・「公民館（図書館）を利用しているか」についても、「どのような場所や形態で学習活動」をしているか」の「公的な機関」を細分化すれば統合できると思う。
・「図書館（公民館）の講座でどのようなことをしたいと思うか」は自由記述に変えて統合しても良いと考える。

●議長：アンケートについては、本日挙がった意見を事務局側で整理してもらい、次回も引き続き議論をしたいと思うが、よろしいか。

一同異議なし

次回会議

日時 令和8年9月25日（金）午後2時

場所 田無第二庁舎3階会議室